

ミートロニクス (MIE-TRONICS) ～誘電体ミー共振器の物理と応用

日時：2023年3月16日（木）13:30～18:30

会場：上智大学 四谷キャンパスおよびオンライン

近年、高屈折率媒質からなるミー共振器中の多重極子やトロイダルモード、アナポールによる光散乱とそのエンジニアリングの進展が著しい。これは誘電体メタサーフェスの応用研究にも大きな影響を与えつつある。本シンポジウムはこの分野の若手研究者による最新の研究成果の報告を通じて、現状と今後の方向性を探る。

■ ミー共鳴ナノアンテナによる光と物質の相互作用の増大

杉本 泰（神戸大）

■ カソードルミネッセンスによるミー共鳴の可視化

三宮 工（東工大）

■ 局在共鳴と光回折の協奏現象

～表面格子共鳴、Kerker効果、BICs～

村井 俊介（京大）

■ 全誘電体メタ表面を用いた磁気光学効果の増強

太田 泰友（慶応大）

■ 誘電体ナノ構造の高感度バイオセンシング応用

矢野 隆章（徳島大）

■ メタサーフェスの光センサーへの展開

岩長 祐伸（NIMS）

■ 誘電体導波路型メタサーフェスによる機能性光学素子

岩見 健太郎（農工大）

■ 誘電体メタサーフェスが拓く高感度・多次元イメージング

宮田 将司（NTT）

Stay With Mie